

◆生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2023

# シン・時代を美しく安全に生きる

■2023年11月17日(金) プレセッション  
11月18日(土) メインセッション

■静岡県立大学草薙キャンパス



11/17(金) 静岡県立大学学内競争的資金による研究成果発表  
(US: University of Shizuokaフォーラム2023)

11/18(土) 記念講演  
地域のWell-beingをめざす「地元創成看護学」  
—看護系大学のシン使命

シンポジウム  
シン・時代を美しく安全に生きる

高校生研究セッション、  
県内4大学による特色ある取組の展示

主催：静岡県立大学

協力：静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学

# 目次

## ◆生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2023◆ テーマ/シン・時代を美しく安全に生きる

ページ

1 プログラム

2 静岡県公立大学法人理事長兼静岡県立大学学長挨拶 尾池 和夫

3 生涯健康サイエンスフェス運営委員会委員長（静岡県立大学副学長）挨拶 渡邊 順子

5 静岡県立大学学内競争的資金による研究成果発表  
（US：University of Shizuokaフォーラム2023）

13 記念講演 地域のWell-beingをめざす「地元創成看護学」  
—看護系大学のシン使命

17 シンポジウム シン・時代を美しく安全に生きる

21 高校生研究セッション

33 県内4大学による特色ある取組の展示

34 座長、コメンテーター

主催、協力、協賛団体・企業

# プログラム

2023年11月17日(金) プレセッション

静岡県立大学学内競争的資金による研究成果発表 (US: University of Shizuoka フォーラム2023)

経営情報学部棟 1階、2階

11:00  
12:30  
ポスター発表 (48件) 経営情報学部棟 1階4109講義室

13:00  
16:00  
口頭発表 (4会場 64件) 経営情報学部棟 1階4104講義室、4105講義室、2階4212講義室、4213講義室

2023年11月18日(土) メインセッション

開会式

第1会場 (大講堂)

10:30

記念講演

第1会場 (大講堂)

10:45  
12:00  
演題: 地域のWell-beingをめざす「地元創成看護学」—看護系大学のシン使命  
講師: 前神戸市看護大学 学長、前日本学術会議連携会員 南 裕子  
座長 静岡県立大学副学長 渡邊 順子

シンポジウム「シン・時代を美しく安全に生きる」

第1会場 (大講堂)

13:00  
15:00  
シンポジスト: 静岡大学 グローバル共創科学部 学部長・教授 池田 恵子  
自分らしく災害に備える  
シンポジスト: 浜松医科大学 健康社会医学講座 准教授 中村 美詠子  
シン・時代の食事デザイン: 錆びない身体と心のつくり方  
シンポジスト: 静岡社会健康医学大学院大学 ゲノム医学領域 教授 堀内 泰江  
シン・時代における遺伝カウンセリング  
シンポジスト: 静岡県立大学 国際関係学部 教授 高畑 幸  
移民女性の視点からみる「美しさと安全」  
座長 静岡県立大学短期大学部 学部長 永倉 みゆき

高校生研究セッション、県内4大学による特色ある取組の展示

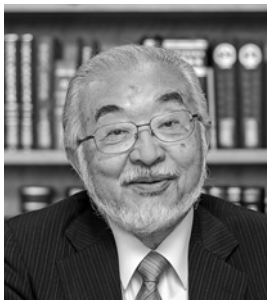
第2会場 (一般教育棟 1階2103講義室)

13:00  
14:45  
高校生による研究発表、グループ討論  
静岡大学・浜松医科大学・静岡県立大学・静岡社会健康医学大学院大学による特色ある取組のポスター展示

閉会式

第1会場 (大講堂)

15:00



これまで開催してまいりました「静岡健康・長寿学術フォーラム」を、今年度から「生涯健康サイエンスフェスin静岡県立大学2023」と称し、リニューアルしたプログラムで、静岡県立大学が運営主体となって、静岡大学、浜松医科大学及び静岡社会健康医学大学院大学と協力しながら、開催することとしました。

本年度は、11月17日（金）のプレセッションと11月18日（土）のメインセッションの両日開催で、「シン・時代を美しく安全に生きる」をテーマとし、人が生涯健康で暮らせるよう、いかに美しく、かつ安全に生きるための科学的な知恵について一緒に考えてまいります。

17日（金）開催の「US（University of Shizuoka）フォーラム」では、これまでも、本学の研究成果についての発表の場となっておりますが、特に今年度はより多くの研究内容を聴講できるよう、例年以上の件数を口頭発表とポスター発表の両方で公開し、本学の教員の研究に身近に触れる機会を増やしました。

また、18日（土）開催のメインセッションでは、地域のWell-beingをめざす「地元創成看護学」と題した記念講演や、本学を含む県内4大学の先生方によるシンポジウムのほか、高校生による日頃の研究発表など、本大会を通して、静岡から生涯健康に係る多くの情報を発信するとともに、各世代の誰もが安心して豊かに暮らせる社会の構築に寄与してまいりたいと考えております。

参加される皆様にとって、生涯健康を考える場として、有意義な時間が共有できますことを期待しております。

静岡県立大学法人理事長兼静岡県立大学学長

尾池和夫



## 「シン・時代を美しく安全に生きる」

今回のテーマの「シン・〇〇」は「新・〇〇」の代替表現で、初出は映画「シン・ゴジラ」に由来します。しかし、「シン」には「新」のほかに、「進(化)」「深(化)」そして、健康に関わる「心」「身」などの多義的な意味が多くあります。令和に入り、未曾有の猛威を振るった新型コロナや自然災害を私たちはくぐり抜けてきました。これからどのような時代が待ち受けているのか、誰もが生涯健康で過ごすための方略を探りたいと考えました。

人がその人らしく活躍することが、その人の健康に繋がると信じています。その人らしい美しさはココロとカラダが整えられてつくられます。美しさとは時代やその人の価値観によって変わりますが、機能的な合理性が均衡に保たれている状態とも解釈できます。

そして、多くの研究が「健康」につながると思います。

プレセッションとして、本学の学内的競争資金を獲得した296件のうち112件の研究成果を初めて一般公開することになりました。本学の研究資産のほんの一部です。是非、ご覧ください。

メインセッションとして、記念講演では南先生による地元の課題は地元でと提唱される「地元創成看護学」についてご講演していただきます。シンポジウムでは、「シン・時代を美しく安全に生きる」について、災害、食事、遺伝、移民と多分野の視点から議論していただきます。高校生による研究セッションには、8校19件が参加し、静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学、静岡県立大学の教員がコメンテーターとなり研究の醸成をサポートします。また、上記4大学の特色ある取り組みのパネル展示も意欲的です。

ほんの2日間ではありますが、「生涯の健康」と「シン・時代を美しく安全に生きる」について、みなさまと共に楽しく考えられたらと願っています。

生涯健康サイエンスフェス運営委員会委員長  
静岡県立大学副学長

渡邊 順子

荷主様のパートナー企業を目指して・・・  
陸・海・空 総合物流のコーディネーター

# 清和海運株式会社

我々のビジネスフィールドに国境はありません  
グローバルネットワーク

お客様の海外進出に伴い、アジア地域を中心に  
拠点を展開し、物流業務を行っています。

【国内】

静岡・浜松・掛川・山梨（南部町）・川崎・東京

【海外】

SEIWA PIONEER LOGISTICS CO., LTD. (タイ/バンコク)

SEIWA KAIUN (VIETNAM) CO., LTD. (ベトナム/ホーチミン)

SEIWA INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国/上海)

SEIWA INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD. SHENZHEN BRANCH (中国/深圳)

SEIWA KAIUN (H. K) CO., LTD. (香港)

PT. SEIWA LOGISTICS INDONESIA (インドネシア/ジャカルタ)

SEIWA KAIUN PHILIPPINES INC. (フィリピン/マニラ)

本社 静岡県静岡市駿河区森下町1-35 静岡MYタワー2・3階  
TEL:054-288-2741 (代表) FAX:054-288-2780  
HP URL: //www.seiwa-kaiun.co.jp

## 株式会社テクノサイエンス

計測機器・電子制御機器・医療機器設計製造

光を使用し非接触で測定する計測器、医療機器及び各種電子機器の設計から製造まで、お客様の様々な要求に対応可能です。

◎製品・技術の特徴

- .....
- 【製品名】 月兎 (医療機器)  
【使用目的】 電子駆血帯  
【説明】 電子駆血帯「月兎」は腕帯を空気で加圧して血管を駆血する装置。  
複数の加圧層による独自の技術で血管の怒張を促します。
- 【製品名】 カフスキャット (医療機器)  
【使用目的】 気管内チューブ用カフインフレーター  
【説明】 人口呼吸器使用時の気管内チューブ用カフのエア注入・制御装置。  
これまで、シリンジで一定量の空気を送り込むか、手動インフレーターで  
注入していたのを簡単操作で適正圧力制御を可能にしました。
- .....

所在地  
〒410-0314 静岡県沼津市一本松 128-2  
電話番号 055-966-6000 / FAX 055-967-9093  
<http://www.t-science.co.jp>



2023年11月17日(金) プレセッション

# 静岡県立大学学内競争的 資金による研究成果発表

(US : University of Shizuoka フォーラム2023)

11:00~12:30 ポスター発表

13:00~16:00 口頭発表



全ての研究要旨は、こちらからご覧いただけます。

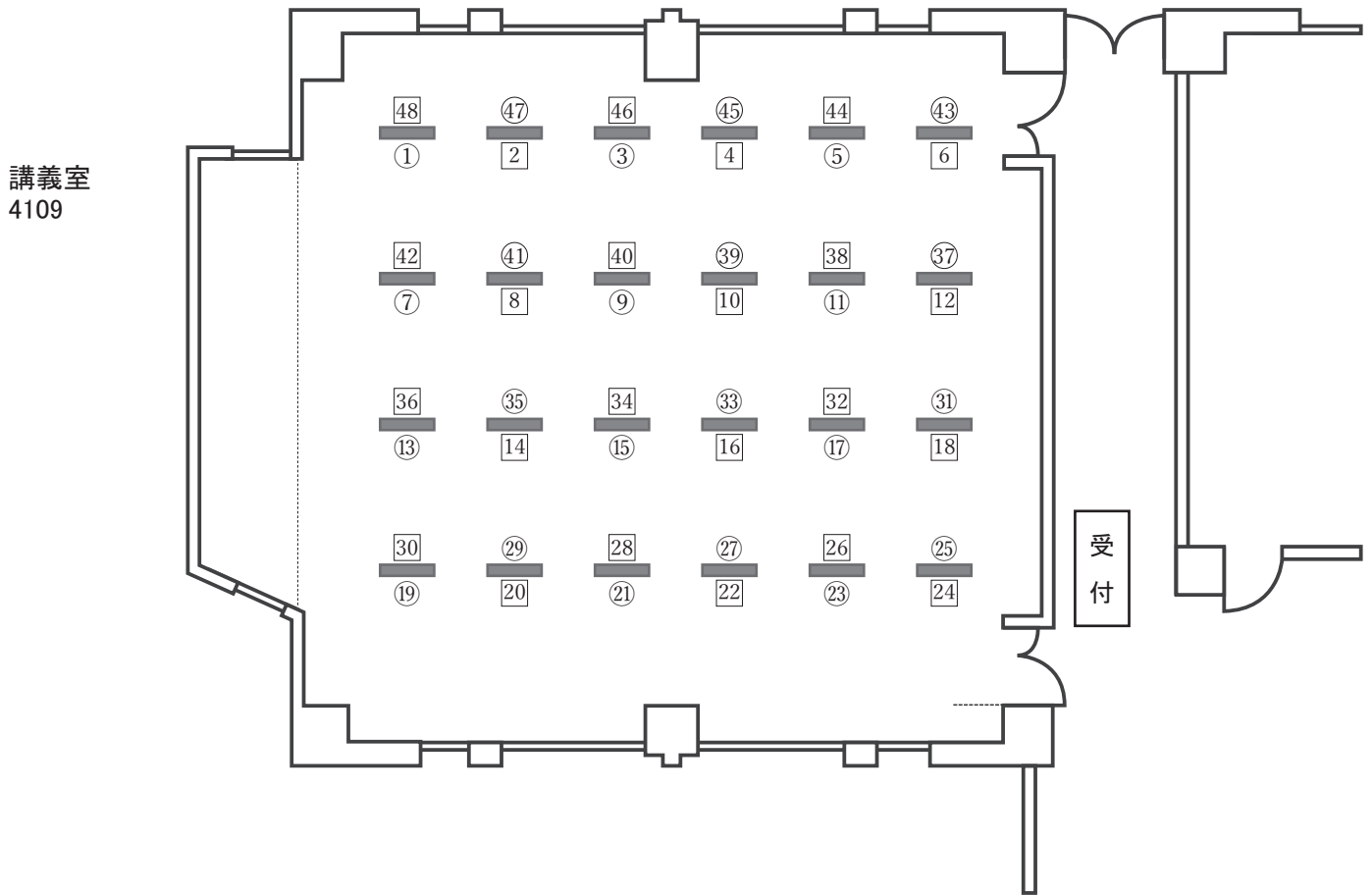
「USフォーラム 2023」ポスター発表プログラム (経営情報学部棟 1階4109講義室)

11:00 ~ 11:05 開会挨拶								
令和4年度 教員特別研究推進費等 採択研究課題 ＜奇数番号(○数字):前半24件、偶数番号(□数字):後半24件 計48件＞								
	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.	
					職名	氏名		
①	前半の部 (奇数番号: ○数字) 11:00~ 11:45	3	糖鎖生物学に基づくノロウイルス感染機構の解明	薬	助教	紅林 佑希	70	
②		3	去勢抵抗性前立腺がん治療のためのAR-V7の核移行を抑制する化合物の探索と機序解析	薬	講師	志津 怜太	72	
③		3	脳虚血再灌流障害治療に向けたプラスチック抗体開発	薬	准教授	小出 裕之	76	
④		3	天然物の生合成機構を基盤としたプロテアーゼ阻害剤の創製	薬	准教授	佐藤 道大	79	
⑤		3	インスリン分泌後の過程から迫る糖尿病治療薬のシーズ探索	薬	准教授	木村 俊秀	74	
⑥		3	敗血症における性差決定因子の同定と発現調節機構の解明	薬	准教授	坂本 多穂	82	
⑦		3	高度催吐性レジメンに対するステロイド薬を含まない新規3剤併用制吐療法の開発を目的とした多機関共同第Ⅱ相試 (PATROL-Ⅱ試験)	薬	講師	辻 大樹	84	
⑧		3	転写を抑制するヒストンバリエーションの分解機構の解明	薬	講師	菱木 麻美	88	
⑨		3	キラルイオン対会合型ケトン触媒のライブラリー構築と光反応の立体制御	薬	助教	山下 賢二	90	
⑩		3	有機分子触媒を活用したネオスルガトキシンの合成研究	薬	准教授	稲井 誠	77	
⑪		後半の部 (偶数番号: □数字) 11:45~ 12:30	2	バンコマイシン母集団薬物動態パラメータ算出及び最適血中バンコマイシン濃度シミュレーションシステム確立	薬	講師	三浦 基靖	64
⑫			2	組織内高極性化合物の高感度かつ高解像度なイメージング法の開発	薬	助教	杉山 栄二	23
⑬			2	溶解性改善技術の適用によるたまねぎ・茶由来難溶性機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	助教	山田 幸平	31
⑭			2	薬物搭載デンタルフロスの強度が歯間部での薬物送達に与える影響	薬	助教	照喜名 孝之	34
⑮			2	マグロ・カツオ含有イミダゾールペプチドの心肥大・心不全に対する効果検討	薬	講師	砂川 陽一	37
⑯			2	多環芳香族ジニトロ化合物の変異原発現機構解明のための有機化学的アプローチ	薬	講師	岩本 憲人	48
⑰			2	腸内細菌代謝産物によるパイエル板貪食細胞の抗原取り込み促進作用の解析	薬	助教	中西 勝宏	60
⑱			2	静岡県民の高たんぱく質食品摂取と腸内細菌叢メタ解析の関連から肥満の個別化予防を確立する～四季食事調査 (ビックデータ) の欠測値をMCMC法で多重代入する解析～	食品	教授	栗木 清典	113
⑲			2	茶およびフェノール含有食品の渋み除去をめざした、安価なポリフェノール酸化重合酵素精製法の開発および技術熟成	食品	准教授	河原崎 泰昌	122
⑳			2	時系列官能プロファイルを活用した銘柄緑茶のおいしさの「見える化」	食品	准教授	伊藤 圭祐	123
㉑			2	燻製食品に含まれる多環芳香族炭化水素類およびそのハロゲン化物の曝露・リスク評価	食品	助教	徳村 雅弘	133
㉒			2	県産品エキスにおける新規アイケア機能の開拓	食品	助教	寺田 祐子	135
㉓		2	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息するマシジミの資源量回復と増大のための養殖法の確立	食品	助教	明正 大純	137	
㉔		2	表皮の糖化に対する微生物代謝産物の抑制作用機序の解析	食品	助教	島村 裕子	134	



	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.	
					職名	氏名		
25	前半の部 (奇数番号: ○数字) 11:00~ 11:45	2	微生物の酸化還元プロセスを利用した無機元素リサイクル法の開発	食品	教授	谷 幸則	105	
26		2	硫黄不均化細菌を用いた重金属イオン除去の検討	食品	助教	梅澤 和寛	131	
27		2	静岡県に生息するニホンジカの食資源化に向けた、捕獲地域の異なるシカ肉の食肉特性の比較および新たなシカ肉製品の開発・評価	食品	教授	市川 陽子 (助教 大槻尚子)	115	
28		2	食品残渣を活用した効率的な昆虫生産系の開発	食品	助教	大原 裕也	129	
29		2	糖尿病宿主における黄色ブドウ球菌の病原性発現に変異・発がん物質が及ぼす影響	食品	教授	増田 修一	111	
30		2	ニホンウナギの完全養殖の高度化に資する育種技術の開発：ゲノム編集による生殖幹細胞の卵形成誘導	食品	教授	小林 亨 (助教 明正大純)	109	
31		2	内臓神経を介したエネルギー代謝調節機構の解明並びに健康増進への応用	食品	准教授	内田 邦敏	124	
32		1	国際比較による類型を踏まえた後期中等教育から大学教育への選抜と接続に関する教育学的研究	国際	教授	澤田 敬人	176	
33		1	地球規模の気候変動にともなう異常気象と自然災害に対する地域社会の対応の国際比較研究	国際	准教授	孫 暁剛	179	
34		1	ボアジチ大学と連携したトルコ理解の促進：ボアジチ大学との交流事業の継続と向上のために	国際	准教授	佐藤 真千子	180	
35		1	スコットランド・ゲール語とスコッツ語による詩の教育的効果に関する研究	国際	准教授	米山 優子	184	
36		1	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援②	国際	准教授	森 直香	183	
37		後半の部 (偶数番号: □数字) 11:45~ 12:30	2	ポストコロナを見据えた静岡県観光戦略の調査研究	経情	教授	大久保 あかね	207
38			2	自治体が実施する効果的な認知症予防事業の在り方に関する研究	経情	教授	東野 定律	210
39			2	静岡県内の観光パンフレットにみる観光資源の位置づけと領域イメージ	経情	教授	内海 佐和子	219
40			2	戦略的事業承継のあり方に関する研究	経情	教授	落合 康裕	212
41			2	慢性腎臓病（CKD）の診断基準となるeGFRシスタチンおよびeGFRクレアチニンの有用性に関する臨床的意義の検討	看護	教授	荒井 孝子	232
42			2	子どもを対象としたアドバンスケアプランニング（ACP）の検討ー静岡県立こども病院における現状と課題ー	看護	助教	丸山 始美	241
43			2	多環芳香族化合物の毒性作用機序に関わる遺伝子発現評価	看護	助教	三崎 健太郎	237
44			学部	看護教育における初年度科学教育と専門教育の連携についてー基礎健康科学演習を含めた初年度教育の充実と専門教育への橋渡しモデルカリキュラムの提案ー	看護	教授	井上 健一郎 太田 尚子	17
45		学部	地域住民と地域の看護者との交流を生かした看護者基礎教育の推進	看護	教授	富安 眞理	20	
46		1	大学生の英語ライティングに見られる思考内容と思考過程の関係性	言コミ	特任講師	相羽 千州子	252	
47		2	立体形状の選好と触る行為についての研究	短大部	教授	藤田 雅也	260	
48		1	高齢者施設におけるスタンディングリフト導入の可能性の検討	短大部	助教	大石 桂子	258	
12:30 閉会								
<研究区分> 1：教育推進 2：地域振興 3：独創・先進的研究 5：国際共同研究・国際交流の促進 学部：学部研究推進								

11/17(金)プレセッション USフォーラム 2023  
11:00~12:30 ポスター発表会場(経営情報学部棟 1階 4109 講義室)



発表 奇数番号(○数字):前半の部 11:00~11:45(45分間)  
発表 偶数番号(□数字):後半の部 11:45~12:30(45分間)

「USフォーラム 2023」 口頭発表プログラム ①会場(経営情報学部棟1階4104講義室)

13:05 ~ 13:10 開会									
令和4年度 教員特別研究推進費 採択研究課題 (16件)									
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
							職名	氏名	
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 眞鍋 敬	2	精神疾患におけるQOL状況への酸化ストレスの関連	薬	准教授	井上 和幸	43
2	13:20 ~ 13:30	0:10		3	細胞の質的特性を決定する細胞分裂機構の解明	薬	教授	原 雄二	91
3	13:30 ~ 13:40	0:10		3	骨格筋系列の細胞におけるキシロース含有糖鎖の合成調節機構に関する研究	薬	教授	竹内 英之	69
4	13:40 ~ 13:50	0:10		2	がん予防薬創出の方法論の確立をめざす有機合成化学的アプローチ	薬	准教授	吉村 文彦	24
5	13:50 ~ 14:00	0:10		2	膵β細胞標的抗糖尿病成分の創製を指向した柑橘果皮成分の構造活性相関研究	薬	講師	金子 雪子	18
6	14:00 ~ 14:10	0:10	准教授 中澤 秀一	1	模擬患者 (Simulated Patient:SP) 参加型シミュレーション教育の学修効果分析および方略検討	短大	准教授	長谷 由紀子	256
7	14:10 ~ 14:20	0:10		2	地域で福祉と防災が連携する西豊田インクルーシブ防災活動の実践研究	短大	准教授	江原 勝幸	261
8	14:20 ~ 14:30	0:10	准教授 江原 勝幸	2	ケア労働者を誰一人取り残さない社会の実現	短大	准教授	中澤 秀一	262
16:00 閉会									
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 山下 早苗	1	教育用電子カルテを活用した学内実習の学習効果	看護	講師	管原 清子	228
10	14:50 ~ 15:00	0:10		5	3カ国5大学連携によるグローバル看護教育プログラムの開発	看護	講師	根岸 まゆみ	250
11	15:00 ~ 15:10	0:10		1	看護ケアにおける看護師の前腕の汚染に関する実験的検証	看護	講師	加藤 京里	229
12	15:10 ~ 15:20	0:10		2	精神疾患を有する女性の気になる更年期に関する心身の不調に関する実態調査—精油を用いた更年期症状のセルフケア行動獲得を目指して—	看護	助教	近藤 美保	239
13	15:20 ~ 15:30	0:10		2	壮年期の終末期がん療養者と家族のニーズと求める支援	看護	助教	長谷部 美紀	247
14	15:30 ~ 15:40	0:10		2	ライフスタイルの変容が疾病発生リスク及び寿命に与える影響の予測	看護	准教授	堀 芽久美	235
15	15:40 ~ 15:50	0:10		3	神経難病療養者の在宅療養支援に関するIPW (Interprofessional Work) 状況調査	看護	講師	加納 江理	249
16	15:50 ~ 16:00	0:10		1	コロナ対策による孤立・孤独を防ぐメンタルヘルス支援法の開発	看護	教授	篁 宗一	225
<研究区分> 1 : 教育推進    2 : 地域振興    3 : 独創・先進的研究    5 : 国際共同研究・国際交流の促進    学部 : 学部研究推進									

「USフォーラム 2023」 口頭発表プログラム ②会場(経営情報学部棟1階4105講義室)

13:05 ~ 13:10 開会									
令和4年度 教員特別研究推進費 採択研究課題 (16件)									
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
							職名	氏名	
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 石井 由香	1	英語における感情表出構文のメカニズムの解明	国際	准教授	田村 敏広	182
2	13:20 ~ 13:30	0:10		1	日本語運用技術力の向上のための有効的教授法	国際	准教授	竹部 歩美	181
3	13:30 ~ 13:40	0:10		1	難民受け入れ地域の人とモノのモビリティに関する人類学的研究：ウガンダの事例から	国際	助教	村橋 勲	187
4	13:40 ~ 13:50	0:10		2	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア	国際	教授	森山 優	194
5	13:50 ~ 14:00	0:10		2	在日外国人の音楽活動—フィリピン人集住地域（静岡、愛知、首都圏）におけるコミュニティ形成と共棲	国際	教授	米野 みちよ	195
6	14:00 ~ 14:10	0:10	教授 澤田 敬人	2	東海道五十三次と駿遠豆の旅籠 ——ホスピタリティでつなぐ世界、日本、静岡	国際	准教授	松森 奈津子	196
7	14:10 ~ 14:20	0:10		2	コロナウイルスと共存する世界と静岡県経済・企業の持続可能性への影響	国際	講師	飯野 光浩	197
8	14:20 ~ 14:30	0:10		3	近代インド宗教史研究と比較文化教育への新聞データベース活用——「裾野のDH」の試み(2)	国際	准教授	富澤 かな	199
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
							職名	氏名	
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 澤田 敬人	3	新型コロナウイルス感染症拡大下での法廷通訳の現状と課題	国際	教授	水野 かほる (教授 坂巻静佳)	198
10	14:50 ~ 15:00	0:10	教授 岸 昭雄	2	時空間ビッグデータを対象としたメタクラスタリング技術と可視化法の研究	経情	准教授	大久保 誠也	205
11	15:00 ~ 15:10	0:10		2	医用画像からの心臓抽出の実現ならびに修正インタフェースの開発	経情	助教	小田 紘久	220
12	15:10 ~ 15:20	0:10		1	Withコロナ時代におけるアクティブラーニング・プログラムの開発	経情	教授	上野 雄史	200
13	15:20 ~ 15:30	0:10		2	本学設置の自立型防災通信ステーションの学外向けの通信機能強化に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭	216
14	15:30 ~ 15:40	0:10	教授 上野 雄史	2	本学と賀茂1市5町地域連携協定に基づく同地域の観光に関する基礎的研究	経情	教授	八木 健祥	206
15	15:40 ~ 15:50	0:10		2	静岡県経済の構造的課題と健康関連産業を事例とした産学連携のあり方	経情	教授	岸 昭雄	204
16	15:50 ~ 16:00	0:10		1	Effects of L1/L2 instructions on reading comprehension and writing production	言コミ	特任講師	Arshavskaia Ekaterina	253
16:00 閉会									
<研究区分> 1 : 教育推進    2 : 地域振興    3 : 独創・先進的研究    5 : 国際共同研究・国際交流の促進    学部 : 学部研究推進									

「USフォーラム 2023」 口頭発表プログラム ③会場(経営情報学部棟2階4212講義室)

13:05 ~ 13:10 開会									
令和4年度 教員特別研究推進費 採択研究課題 (16件)									
No.	時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集No.
							職名	氏名	
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 浅井 知浩	3	一アミノ酸変異マウスを利用した、核内受容体CARシグナルの解明とその肝機能・肝毒性制御への応用	薬	教授	吉成 浩一	71
2	13:20 ~ 13:30	0:10		3	腸内細菌が産生する大腸がん新規リスク要因コリバクチンの発がん機序解明と予防法の確立	薬	教授	渡辺 賢二	78
3	13:30 ~ 13:40	0:10		2	医薬品合成効率化に向けたフロー型マイクロ波システムの利用	薬	准教授	江上 寛通	54
4	13:40 ~ 13:50	0:10		2	安定同位体標識した脂質・脂肪酸の合成法の確立と活用	薬	教授	滝田 良	68
5	13:50 ~ 14:00	0:10		2	ピロール類の変換による多置換ピロリジン類およびピロリン類の合成	薬	助教	山口 深雪	49
6	14:00 ~ 14:10	0:10	教授 尾上 誠良	2	糖鎖科学に基づいた皮膚のエラスチン産生を促進する技術の開発	薬	講師	南 彰	11
7	14:10 ~ 14:20	0:10		2	糖尿病性腎症尿細管への薬物送達の実現による新規腎保護戦略の開発	薬	講師	米澤 正	22
8	14:20 ~ 14:30	0:10		3	ミスマッチ修復の反応場を形成するミスマッチセンサーの構造生物学的解明	薬	准教授	原 幸大	87
No.	時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集No.
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 尾上 誠良	2	1細胞内代謝物の超高感度質量分析法の開発とがん細胞メタボロミクスへの展開	薬	助教	古庄 仰	65
10	14:50 ~ 15:00	0:10		2	薬剤科学技術の戦略的応用によるサクラエビ由来機能性成分の経口吸収性向上	薬	准教授	佐藤 秀行	30
11	15:00 ~ 15:10	0:10		2	ヘキシルデシルリン酸-アルギニン複合体を用いた経皮吸収剤の開発	薬	講師	内野 智信	41
12	15:10 ~ 15:20	0:10	准教授 宮寄 靖則	3	男女差を考慮した新規心毒性評価系の開発	薬	教授	黒川 洵子	81
13	15:20 ~ 15:30	0:10		2	褐藻類抽出エキスの低活動膀胱への応用	薬	講師	伊藤 由彦	62
14	15:30 ~ 15:40	0:10		2	記憶の獲得および忘却過程に対するPIEZ01イオンチャネルの役割	薬	助教	鈴木 美希	57
15	15:40 ~ 15:50	0:10		2	分光イメージング技術を用いたテープ剤の製剤学的評価	薬	准教授	柏倉 康治	45
16	15:50 ~ 16:00	0:10		2	脂肪細胞を標的とした胃癌性腹膜播種に対する新規予防治療薬の探索	薬	助教	浜辺 俊秀	66
16:00 閉会									
<研究区分> 1: 教育推進    2: 地域振興    3: 独創・先進的研究    5: 国際共同研究・国際交流の促進    学部: 学部研究推進									

「USフォーラム 2023」 口頭発表プログラム ④会場(経営情報学部棟2階4213講義室)

13:05 ~ 13:10 開会									
令和4年度 教員特別研究推進費 採択研究課題 (16件)									
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
							職名	氏名	
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 三浦 進司	3	野菜や果物に含まれる芳香族アミンの代謝物解析と安全性評価	食品	准教授	三好 規之	161
2	13:20 ~ 13:30	0:10		5	バングラデシュの河川における金属汚染の特徴に関する研究	食品	教授	雨谷 敬史	172
3	13:30 ~ 13:40	0:10		5	機能的食品開発を目指したタイ産蜂產品の成分分析と機能的評価	食品	教授	熊澤 茂則	171
4	13:40 ~ 13:50	0:10		3	立体構造・遺伝子・アミノ酸配列データベースを活用した蛋白質デザイン法の開発と実証研究	食品	准教授	伊藤 創平	166
5	13:50 ~ 14:00	0:10		3	バイオプロダクションに資する微生物のエネルギー代謝改善法の開発	食品	准教授	原 清敬	163
6	14:00 ~ 14:10	0:10	教授 伊吹 裕子	3	高リン血症にて生じる血管内皮細胞および腎近位尿管細胞の機能低下に対する尿酸代謝産物が及ぼす影響の評価および分子メカニズムの解明	食品	教授	新井 英一	159
7	14:10 ~ 14:20	0:10		3	遅い夕食の代謝異常に対する時間栄養学的病態生理の解明と要因の血清メタボローム解析による探索	食品	教授	保坂 利男	156
8	14:20 ~ 14:30	0:10		3	リン脂質クオリティが骨格筋機能を制御する(骨格筋特異的LPGAT1欠損マウスを用いた解析)	食品	教授	三浦 進司	155
16:00 閉会									
No.	時 間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集 No.
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 伊吹 裕子	3	小腸上皮細胞の膜リン脂質組成が栄養素吸収機能を制御する	食品	助教	佐藤 友紀	167
10	14:50 ~ 15:00	0:10		3	食事誘導性の褐色脂肪組織熱産生におけるエネルギー基質利用・基質選択性の制御メカニズムの解明	食品	准教授	細岡 哲也	164
11	15:00 ~ 15:10	0:10	教授 熊澤 茂則	3	テロドトキシン耐性腸管神経反射を介した腸管粘膜バリア機能調節機構	食品	助教	唐木 晋一郎	169
12	15:10 ~ 15:20	0:10		3	地球温暖化による皮膚温度の上昇と皮膚がん増加の関係—熱による液-液相分離はDNA損傷修復を阻害するのか?—	食品	教授	伊吹 裕子	157
13	15:20 ~ 15:30	0:10		3	農業の脱炭素化に向けた戦略的研究	食品	教授	谷 晃	158
14	15:30 ~ 15:40	0:10		3	使用済みリチウムイオン二次電池からの環境適応型レアメタル回収システムの開発	食品	准教授	永井 大介	162
15	15:40 ~ 15:50	0:10		3	高等植物の虫害防御機構~アブラナ科植物の生体防御を担う特殊な細胞小器官	食品	准教授	田村 謙太郎	165
16	15:50 ~ 16:00	0:10		3	ヒヨスチアミンの大腸菌生産	食品	准教授	鮒 信学	—
<研究区分> 1 : 教育推進    2 : 地域振興    3 : 独創・先進的研究    5 : 国際共同研究・国際交流の促進    学部 : 学部研究推進									

## 記念講演

地域のWell-beingをめざす「地元創成看護学」  
—看護系大学のシン使命

座 長

渡邊 順子 / 静岡県立大学副学長

# 地域のWell-beingをめざす「地元創生看護学」 —看護系大学のシン使命

南 裕子／前神戸市看護大学 学長、前日本学術会議連携会員

我が国の人口減と少子高齢社会の厳しい状況を改善すべく政府が「地方創生時代」を標榜して都道府県や市町村における様々な取り組みが行われている。保健医療福祉の領域では、高齢者および超高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後までできるように「地域包括ケアシステム」が制度化されて、保健・医療・福祉のシームレスな体制を整えてきている。そのような活動のなかから見てきたのは、地域の人々のWell-being（健康・安寧）をサポートする体制づくりは、その地域の特性や特色などの歴史的、現代的背景をもとに考える必要があるということである。同じ県内でも、そして市内でもそれぞれの地域によってニーズが異なる。

一方、看護職（保健師、助産師、看護師）を育成する看護学教育では、「普遍的知識」「全国共通の知識」などをもとにカリキュラムが組まれてきた。看護系大学を設立するときは、「地域に根差した」や「地域に開かれた」といった趣旨が表現されているが、それは既存のまたは先端の看

護学の知識技術をもとにそれを地元に戻元するという「地域貢献」の考えかたが多かった。

しかし、それぞれの地域の文化や価値観、歴史、人口動態などに基づく地域の課題を大学として地域の人々と共に取り組む先駆的な看護系大学が増加し始めた。全国の国公私立大学の3校に1校は看護学教育を行う学部や学科、大学院が誕生し、同じ都道府県内では複数以上の看護系大学が設立されるようになり、それぞれの大学の特徴が求められるようになってきたこともある。「地域に学び、地域と共に、大学は変革する」ことを特徴とする大学が増えているのである。

特に新型コロナウイルス感染症の拡大は、政府の大きな方針のもと、各地において自治体の重要性が浮かび上がってきた。看護界も地元の感染状況に応じて様々な活動を展開することが求められ、多くの学びを得られたとともにそれをもとに新たな教育、研究、社会連携の可能性が高まっている。それは看護系大学のシン使命ともいえようか。



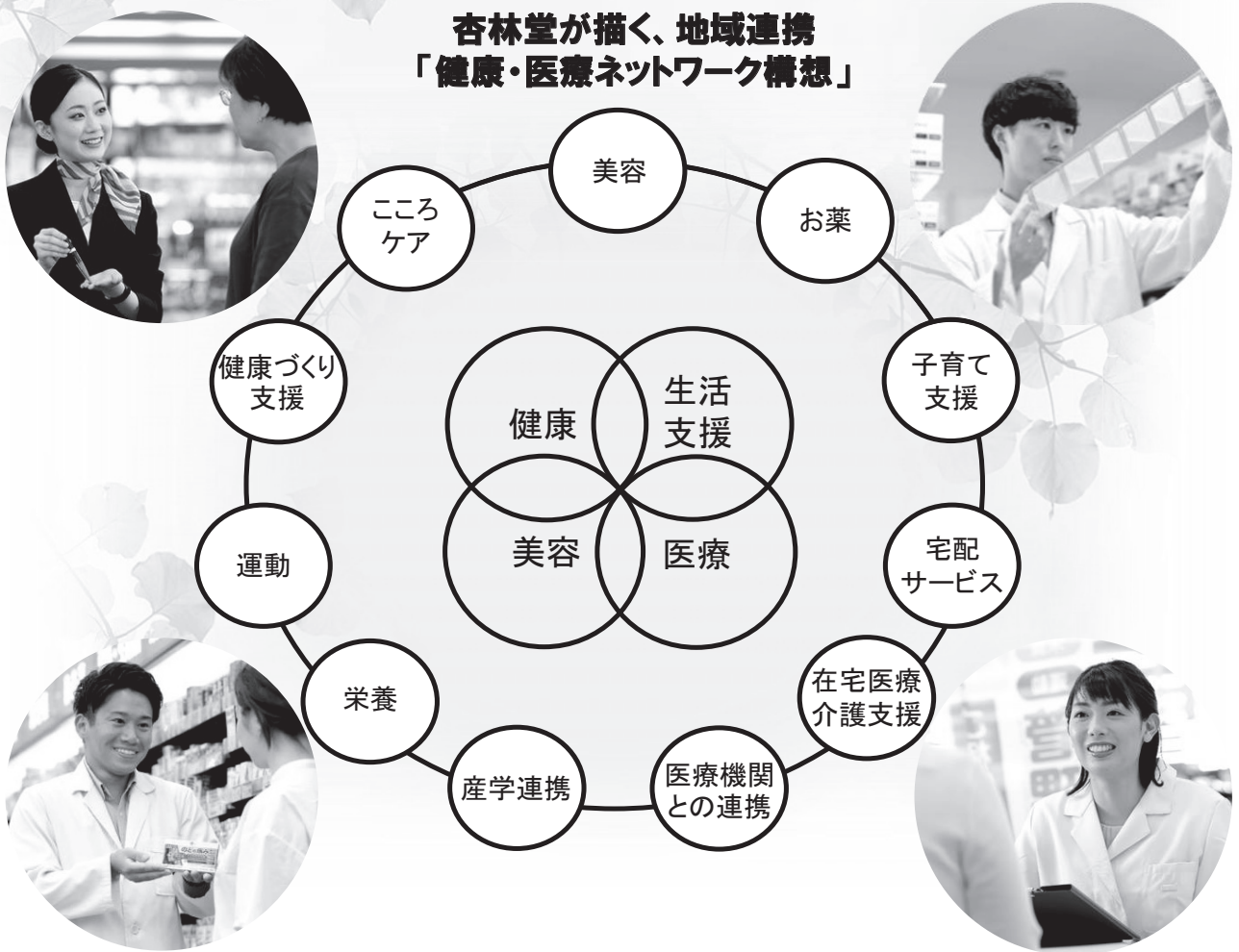
経 歴	1972	イスラエル国ヘブライ大学ハサダ医学部社会医療学科修士課程修了（MPH）
	1982	U.S.A. カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学博士課程修了（DNSc）
	1982	聖路加看護大学看護学部教授
	1993	兵庫県立看護大学学長
	2004	兵庫県立大学副学長・地域ケア開発研究所所長
	2005	日本学術会議会員
	2008	近大姫路大学学長
	2011	公立大学法人高知県立大学理事長/学長
	2019	公立大学法人神戸市看護大学学長
	研究領域：災害看護学、精神看護学、理論構築	
	受 賞 歴	1983
1994		国際ソロプチミストアメリカ神戸東地区ウィメン・オブ・ディステインクション賞
1995		国際ソロプチミストアメリカ日本中央地区ウィメン・ヘルピング・ウィメン賞
2001		カリフォルニア大学サンフランシスコ校同窓生功労賞
2004		タイ王国シーナカリン皇太后賞
2008		兵庫県教育功労賞
2008		兵庫県立大学功績賞
2008		(財)兵庫地域政策研究機構世紀のまちづくり賞
2008		日本災害看護学会功労賞
2011		兵庫県功労者賞
2011		第43回フローレンス・ナイチンゲール記章



# 静岡県の健康寿命の延伸に貢献します。

日本はいま、超高齢化社会へと突入し、静岡県の高齢化率も3割を超えました。2025年には、総人口の2割が後期高齢者となる「2025年問題」が迫り、さらなる平均寿命と健康寿命の差の拡大が懸念されています。杏林堂薬局は、静岡県の健康寿命延伸に貢献することを最終目標とし、お客様の生活をすべてカバーできる「総合生活者ストア」を目指したお店づくりに加え、様々な地域貢献活動を行っています。そのために「健康」、「医療」、「美容」、「生活支援」を柱とする、独自の「健康・医療ネットワーク構想」を掲げています。その中で、「薬剤師」や「登録販売者」、「管理栄養士」、「ビューティースタッフ」が連携し、多方面から地域の皆様の健康へアプローチしています。私たちは、地域医療に総合的に貢献する企業を目指して、日々挑戦を続けています。

## 杏林堂が描く、地域連携 「健康・医療ネットワーク構想」



調剤専門薬局 / 調剤併設型ドラッグストア / ドラッグストア

株式会社 **杏林堂薬局** 人財採用教育部  
TEL053 (453) 2333 (直通)



本社 〒430-7713 静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー13階

詳しくは採用ホームページをご覧ください。  
ホームページ<https://kyorindo-recruit.jp>